

**資格・検定取得目的、最多は「自信をつけ、自己肯定感を高める」****明光義塾調べ「小中学生の資格・検定に関する意識調査」****・資格・検定を受験/受検する際の保護者の不安、最多は「子どもの精神的な負担」****・資格・検定取得後の子どもの変化で最も多かったのは、「自信がついた」**

個別指導の学習塾「明光義塾」を全国展開する株式会社明光ネットワークジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岡本 光太郎）は、小中学生の子どもを持つ全国の保護者880名を対象に、「資格・検定に関する意識調査」を実施しました。



当社が2025年1月に実施した調査では、新学期に新しいことへ挑戦したいと考える中高生のうち、3割以上が資格取得を目指していることが明らかになりました。その背景には、「将来の選択肢を広げたい」「学習意欲を高めたい」と考える子どもたちを支え、応援する保護者の存在があると考えられます。

一方で、学業との両立や、お子さまへの負担を心配する保護者も少なくありません。そこで、明光義塾では、保護者の皆さまのリアルな声をもとに、小中学生の資格取得に対する期待と不安について調査を実施しました。

本調査結果が、これから資格取得を検討するご家庭にとって、より良い選択をするための参考となれば幸いです。

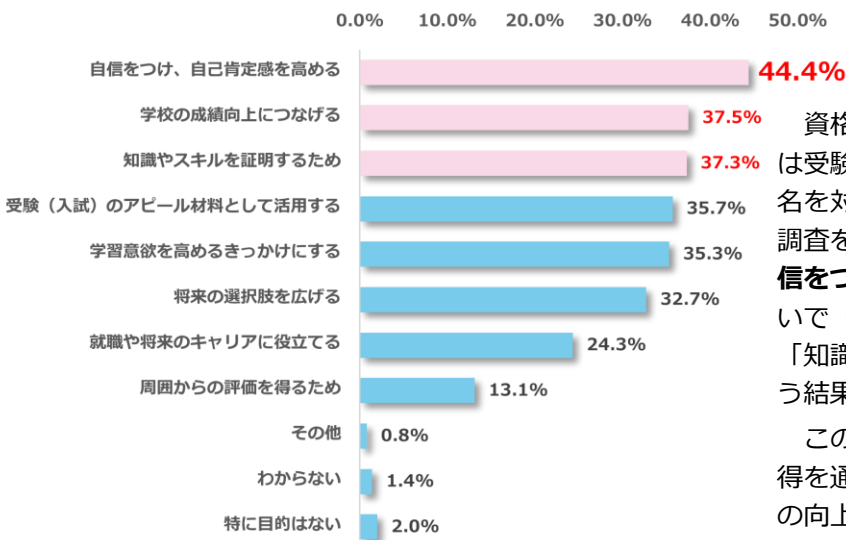
**「小中学生の資格・検定に関する意識調査」 結果概要****結果概要 ①**

- ・小中学生の資格取得率は**36.0%**
- ・小中学生の資格・検定取得目的、最多回答は「**自信をつけ、自己肯定感を高める**」
- ・保護者が感じる不安の最多回答は、「**子どもの精神的な負担**」
- ・資格・検定を取得しようと思ったきっかけ、  
最多は「**本人の意欲や興味**」と「**習い事や塾の影響**」が同率

**結果概要 ②**

- ・小中学生が取得している資格・検定の第1位は、「**実用英語技能検定（英検®）**」
- ・資格・検定取得後の子どもの変化で最も多かったのは、「**自信がついた**」
- ・保護者の**6割以上**が、英語学習における英検®の取得を重要視
- ・小中学生が取得している英検®の級で最も多いのは**3級**

## 資格・検定取得目的、最多は「自信をつけ、自己肯定感を高める」

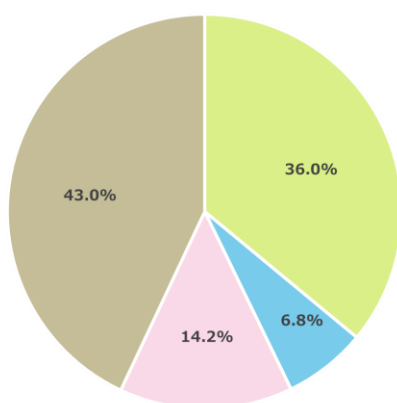


資格・検定を受験/受検したことがある、または受験/受検する予定がある小中学生の保護者502名を対象に、資格・検定を取得する目的について調査を実施しました。その結果、**最多回答は「自信をつけ、自己肯定感を高める（44.4%）」**、次いで「学校の成績向上につなげる（37.5%）」、「知識やスキルを証明するため（37.3%）」という結果になりました。

この結果から、多くの保護者が資格や検定の取得を通じて、子どもが自己肯定感を高めたり学業の向上を期待していることが見受けられます。

## Q1 お子さまの資格や検定の受験/受検・取得状況について、最も当てはまるものをお選びください。（n=880、単一回答方式）

- 受験/受検したことがあり、取得している
- 受験/受検したことがあるが、取得はしていない
- 取得はしていないが、今後受験/受検する予定がある
- 取得はしておらず、受験/受検する予定もない

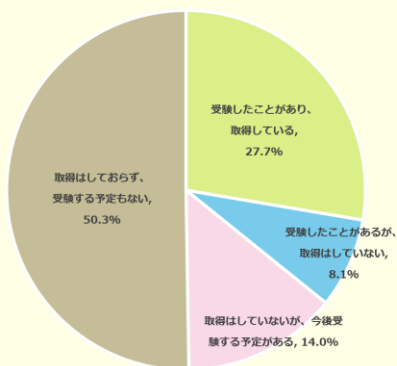


## 小中学生の資格取得率は**36.0%**

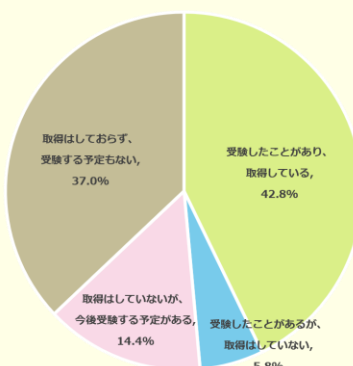
小中学生の子どもを持つ全国の保護者880名を対象に、子どもの資格や検定の受験/受検・取得状況について調査を実施しました。その結果、**36.0%が「受験/受検したことがあり、取得している」**、6.8%が「受験/受検したことがあるが、取得はしていない」、14.2%が「取得はしていないが、今後受験/受検する予定がある」、43.0%が「取得はしておらず、受験/受検する予定もない」という結果になりました。

この結果から、約3人に1人の小中学生が何らかの資格や検定を取得していることが明らかとなりました。

## 【参考調査】小学生の資格取得率27.7%、中学生は42.8%に上昇傾向



【小学生の保護者：394名】

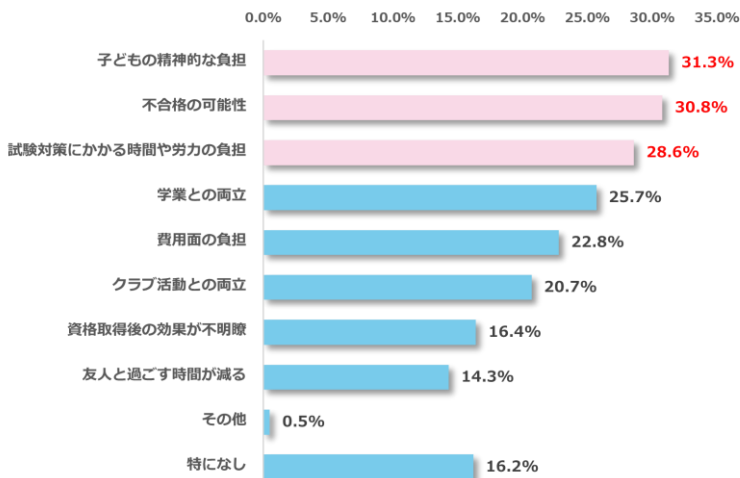


【中学生の保護者：486名】

資格・検定取得率を学年別に分析したところ、**小学生では27.7%、中学生では42.8%**という結果になりました。この結果から、中学生になると資格や検定への関心や取得意欲が高まる傾向がうかがえます。また、中学生の資格取得率が小学生を大きく上回る背景には、進学や将来の進路を見据えた学習意識の変化があると考えられます。

## Q2 お子さまが資格や検定を受験/受検する際に、不安に感じたことを教えてください。(n=377、複数回答方式)

### 子どもが資格・検定を受験/受検する際の保護者の不安、最多回答は「**子どもの精神的な負担**」

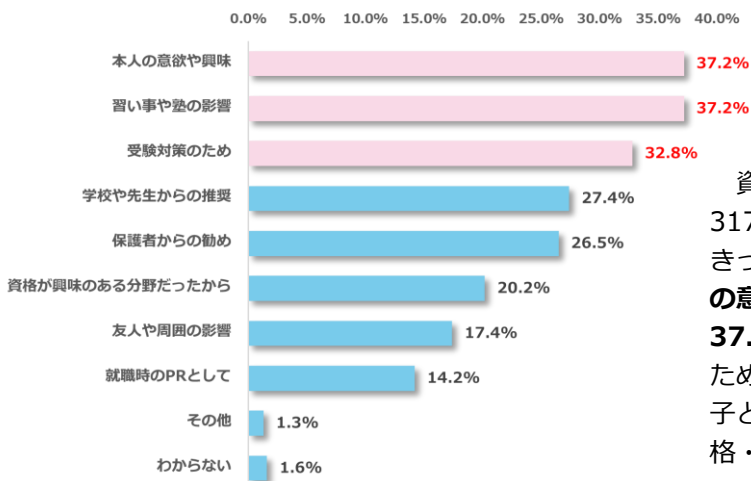


資格・検定を受験/受検したことがあると回答した小中学生の保護者377名を対象に、資格や検定を受験/受検する際に、不安に感じたことを調査しました。その結果、**最多回答は「子どもの精神的な負担（31.3%）」**、次いで「不合格の可能性（30.8%）」、「試験対策にかかる時間や労力の負担（28.6%）」という結果になりました。

この結果から、多くの保護者が、試験勉強の負担や合否の結果による子どもの精神的なストレスを懸念していることがわかります。

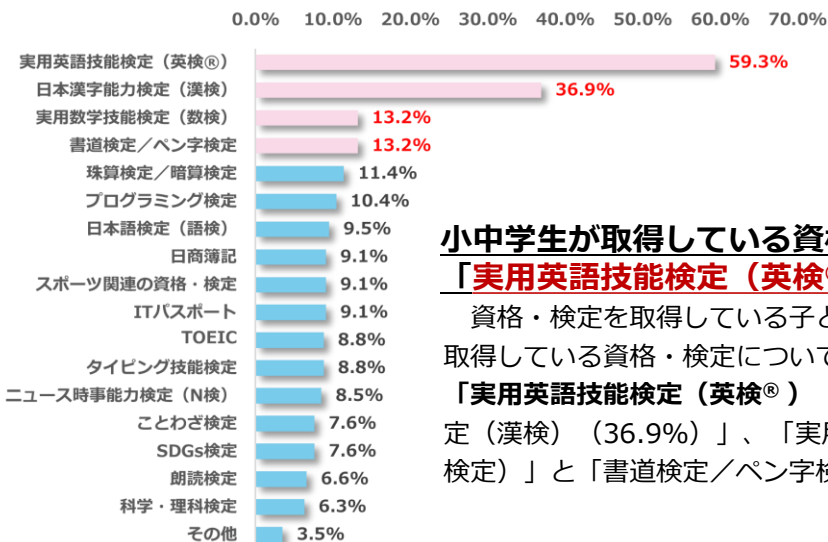
## Q3 お子さまが資格や検定を取得しようと思ったきっかけは何ですか？(n=317、複数回答方式)

### 資格・検定を取得しようと思ったきっかけ、最多は「**本人の意欲や興味**」と「**習い事や塾の影響**」が同率



資格・検定を取得している子どもを持つ保護者317名を対象に、資格・検定を取得しようと思ったきっかけについて調査しました。その結果、「**本人の意欲や興味**」と「**習い事や塾の影響**」がともに**37.2%で最多**となりました。次いで、「受験対策のため（32.8%）」が続く結果となりました。多くの子どもが自身の興味や学習環境の影響を受けて資格・検定取得に挑戦していることがわかりました。

## Q4 お子さまが現在取得している資格・検定について教えてください。(n=317、複数回答方式)

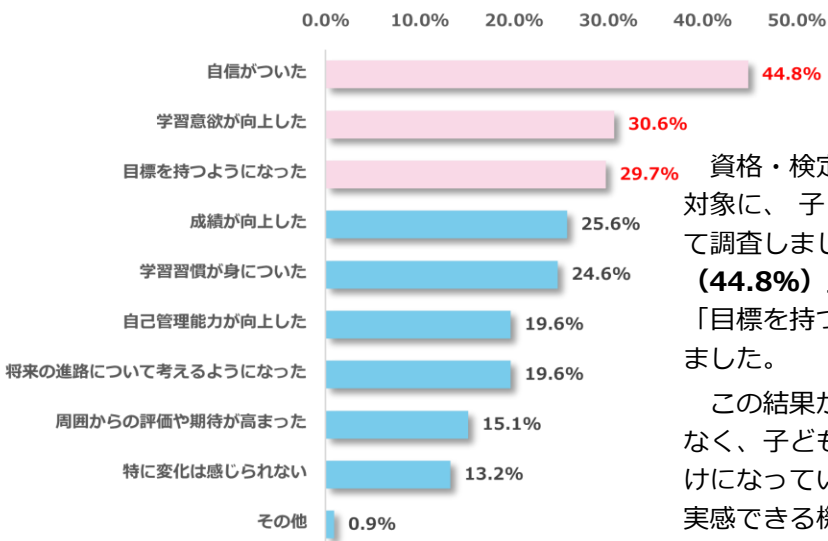


### 小中学生が取得している資格・検定の第1位は、 「**実用英語技能検定（英検®）**」

資格・検定を取得している子どもを持つ保護者317名を対象に、現在取得している資格・検定について調査しました。その結果、**最多回答は「実用英語技能検定（英検®）（59.3%）」**、次いで「日本漢字能力検定（漢検）（36.9%）」、「実用数学技能検定（数検：数学検定・算数検定）」と「書道検定／ペン字検定」がともに13.2%で並びました。

## Q5 お子さまが資格・検定を取得したことで、具体的にどのような変化がありましたか？

(n=317、複数回答方式)



### 資格・検定取得後の子どもの変化で最も多かったのは、「**自信がついた**」

資格・検定を取得している子どもを持つ保護者317名を対象に、子どもが資格・検定取得後の子どもの変化について調査しました。その結果、**最多回答は「自信がついた（44.8%）」**、次いで「学習意欲が向上した（30.6%）」、「目標を持つようになった（29.7%）」という結果になりました。

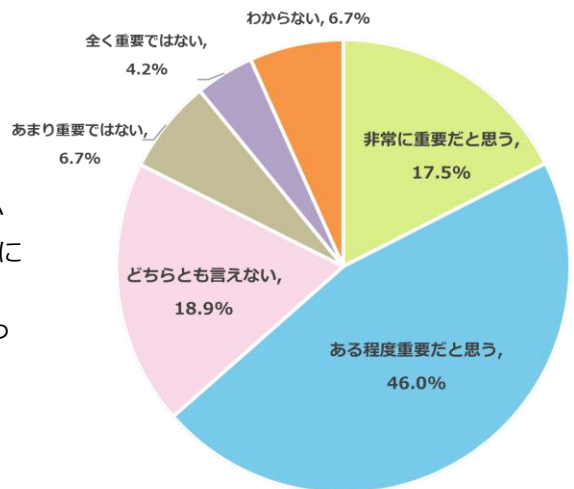
この結果から、資格・検定の取得は、学力の向上だけでなく、子どもの自己肯定感や学習への意欲を高めるきっかけになっていることがわかります。今後も、学びの成果を実感できる機会として、資格・検定の活用が期待されます。

## Q6 お子さまの英語学習において、英検®の取得はどの程度重要だとお考えですか？

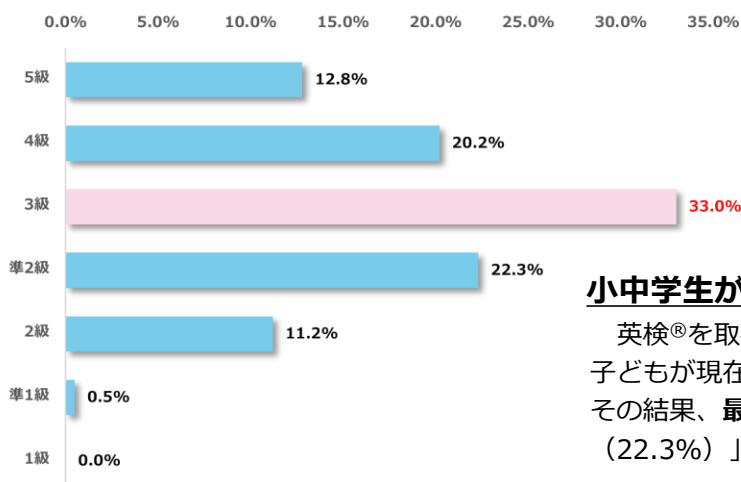
(n=880、単一回答方式)

### 保護者の**6割以上**が英語学習において、**英検®の取得が重要と考えている**

子どもの英語学習において、英検®の取得はどの程度重要か調査しました。その結果、**63.5%が「重要だと思う」（非常に重要だと思う：17.5%、ある程度重要だと思う：46.0%）**と回答しました。近年の英語教育の変化に伴い、小中学生にとって英検®の役割や重要性も高まっていることがうかがえます。



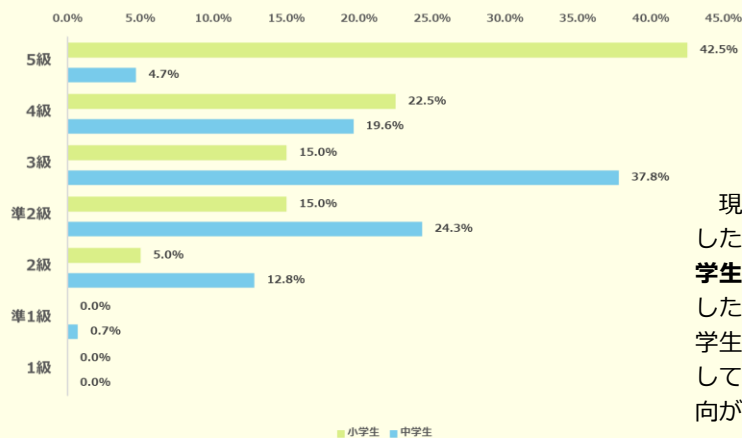
## Q7 お子さまが現在取得している英検®の級を教えてください。(n=188、単一回答方式)



### 小中学生が取得している英検®の級、最多は「**3級**」

英検®を取得している小中学生の保護者188名を対象に、子どもが現在取得している最上級の級について調査しました。その結果、**最多回答は「3級（33.0%）」**、次いで「準2級（22.3%）」、「4級（20.2%）」という結果になりました。

## 【参考調査】英検®取得の中学生、75%以上が3級以上を取得



現在取得している英検®の級を小学生、中学生で比較したところ、**小学生の最多は「5級（42.5%）」**、**中学生の最多は「3級（37.8%）」**という結果になりました。また、英検® 3級以上を取得している割合は、小学生が35.0%だったのに対し、中学生では75.6%に達しており、中学進学後により高い級の取得を目指す傾向があることがわかりました。

### <調査概要>

調査対象 小学4年生から中学3年生の保護者880名

調査期間 2025年3月3日～2025年3月5日

調査方法 インターネットリサーチ調べ

※回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合があります。

## ■英語4技能を伸ばす明光の英検®対策

英語4技能を伸ばす

明光の英検®対策

※英語4技能:「聞く」「話す」「読む」「書く」

正しい英語学習の仕方を教えます!



【明光の英検®対策 詳細はこちら】

[https://www.meikogijuku.jp/top\\_english/](https://www.meikogijuku.jp/top_english/)

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

※このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

明光義塾は、英検®を主催する公益財団法人 日本英語検定協会より、英語教育の向上に積極的に取り組み、その発展に大きく貢献した学校・団体に贈られる賞「日本英語検定協会賞」の表彰を令和3年度から3年連続で受け、個別指導塾として全国の教室で英語教育の向上に積極的に取り組み続けています。明光義塾の英検®対策授業では、従来の「読む」「書く」に加えて「聞く」「話す」の英語4技能をバランスよく伸ばして英検®の合格に導きます。

※本リリースによる調査結果をご利用いただく際は、「明光義塾調べ」と付記のうえご使用くださいますようお願い申し上げます。

## ■株式会社明光ネットワークジャパン (<https://www.meikonet.co.jp>)

事業内容：企業としてPurpose（パーパス：存在意義）を“「やればできる」の記憶をつくる”、Visionを“「Bright Light for the Future」人の可能性をひらく企業グループとなり、輝く未来を実現する”と掲げ、個別指導塾「明光義塾」を始め、さまざまな教育サービスを運営・フランチャイズ展開しています。

## ●明光ネットワークジャパン

【本プレスリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社明光ネットワークジャパン

DX戦略本部 デジタルマーケティング部 担当：堀尾・市田

TEL：03（5332）6313

E-MAIL：[meiko-pr@meikonetwork.jp](mailto:meiko-pr@meikonetwork.jp)